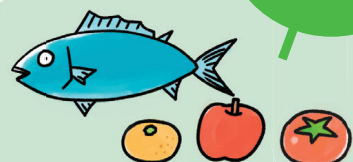


守ろう！ 生物多様性

わたしたち、一人ひとりの行動で生物多様性を守ることができます。生物多様性がもたらす「自然のめぐみ」をこの先ずっと受けられるようにするために、自分でどんな行動ができるのか、考えてみましょう。

生物多様性の ためにできる、 5つの行動



地元でとれたものを食べ、旬のものを味わおう

たべよう



自然の中へ出かけ、自然や生き物にふれよう

ふれよう



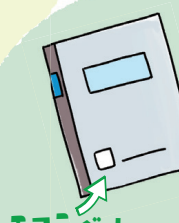
自然のすばらしさや季節のうつり変わりを感じて、家族や友達に伝えよう

つたえよう



自然や生き物の観察会、保護活動などに参加しよう

まそろう



エコラベルなどが付いた、環境にやさしい商品を選ぶ

えらぼう

自然のめぐみとこねさを学ぼう

自然にふれることは、生物多様性の大切さを知ることにつながります。東日本大震災で大きな被害を受けた地域には、復興のシンボルとして指定された国立公園があります。そこでは、手付かずの自然にふれることができ、生物多様性による自然のめぐみだけでなく、自然災害のこねさも学ぶことができます。

さんりくふっこうこくりつこうえん

三陸復興国立公園

東日本大震災で被災した、東北地方の太平洋沿岸(三陸地域)の豊かな自然をつないで、三陸復興国立公園はつくられました。

南北に約220km、北に「海のアルプス」とも言われる大断崖、南に入り組んだ地形が美しいリアス海岸が続く、広大な公園です。東日本大震災の津波による被害を受けた、一部の建物はそのまま残され、自然災害のこねさを学ぶこともできます。



写真：環境省

しおかぜ

みちのく潮風トレイル

みちのく潮風トレイルでは、歩くスピードで旅することで、車の旅では見えない、たくさんのものにふれ、人と自然のつながりや、人と人とのつながりを感じながら歩くことができます。

このトレイルがすべて開通すると、三陸復興国立公園を通りながら、青森県八戸市蕪島から福島県相馬市松川浦までをつなぐ、全長約700kmの歩道になります。

